

平成21年度 事務事業評価シート（平成20年度実績分）

事務事業名	一般事務費（優良建設工事施工者表彰）		部課コード	0505	予算事業科目	010201010302	事	単	区分	継続
所管部署	担当部局	総務部	部局長名（2次評価者）	古味 勉		個別事務	一部	010201010302	-	
	担当部署	契約課	所属長名（1次評価者）	酒井直之			-			
	電話番号	088-823-9416	E-mail	kc-050500@city.kochi.lg.jp			-			

1 事業の位置付け

予算科目（平成20年度）	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け				
会計	01 一般会計	目標	05 E その他の行政経費及び一般行政経費	政策基本方針	(その他の行政経費及び一般行政経費)
款	02 総務費	政策	00 その他の行政経費及び一般行政経費		
項	01 総務管理費	施策	00 その他の行政経費及び一般行政経費		
目	01 一般管理費	区分	00 その他の行政経費及び一般行政経費		

2 事業の根拠

法律・政令・省令		法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等	高知市契約規則, 優良建設工事施工者表彰実施要領	
その他（計画, 覚書等）		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	市発注工事を施工した者のうち, 工事成績が特に優良と認められる者。		
意図	どのような状態にしていけるのか	建設業者の施工意欲と建設技術の向上発展を図り, もって建設工事の品質の確保に資する。		
手段	事業実施体制等	事務局(契約課担当者1名) + 審査会	事業開始年度	平成13年度
			事業終了年度	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の施工者のうち, 成績評価が優良であるものを選定</li> <li>・成績評価が優良である者の中から, 工事担当課長が表彰候補者を推薦</li> <li>・工事担当課長が推薦した者について, 審査会において審査・決定</li> <li>・表彰予定者に選定通知及び表彰式出席案内並びに来賓(市議会議長等)及び市関係部長等に表彰式出席案内</li> <li>・表彰状の筆耕依頼等表彰状作成</li> <li>・表彰式にて表彰状授与</li> </ul>		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	優良建設工事表彰候補者数	優良建設工事表彰候補者数(工事成績評定点80点以上)の被選定者数を前年度と比較	
	B			
	C			

4 事業の実績等

			18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	優良建設工事表彰候補者数	目標 60	60	33	11		
			実績 60	33	11			
	B		目標					
			実績					
C		目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	20	22	20	7	21年度は当初予算額	
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	20	22	20		
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	150	150	150		○契約課選定作業 担当1人×5時間+課長, 補佐2人×30分=6時間 ○工事課推薦作業 (担当1人×1時間+課長, 補佐, 係長計3人×10分)×7課=10時間 ○審査会選考作業 参加者3人(課長, 補佐, 係長)×20分=1時間 ○契約課表彰式	
		正規職員 (千円)	150	150	150			
			その他 (千円)					
			人役数 (人)	0.02	0.02	0.02		
		正規職員 (人)	0.02	0.02	0.02			
その他 (人)								
総コスト= ① + ② (千円)		170	172	170				
市民1人当たりコスト (円)		1	1	0		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数 (人)		327,310	341,544	340,695				

## 5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

公共工事の発注の大幅な減少により、倒産や経験豊富な技術職員の解雇、激しい受注競争による請負比率の著しい低下(低価格受注)など、建設業界をとりまく厳しい現状の中、選定当初における成績評定優良者数が平成19年度から減少傾向にあったが、表彰実績を総合評価落札方式の評価項目に採用したこともあって、平成21年度は24社と前年度(11社)比において倍増していることから、本表彰制度は、建設工事の品質の確保に一定寄与しているものと考えられる。

## 6 1次評価(所属長評価)

評価日(平成21年 9月 7日)

評価項目		評価基準		1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	2.5	本事業は、本市の公共施設整備における品質向上を通して、市の実施計画における「都市美の形成」や道路整備等による「都市交通の円滑化」、耐震工事等による「学校施設の充実」、また「災害に強いまちづくり」などに寄与することとなる。 ただし、対象が建設業者に限定され、直接的な市民ニーズはほとんどない。	
		B (3) 一部結びつく				
		C (1) あまり結びつかない				
		D (0) 結びつかない				
事業実施の必要性	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ(需要量)の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	D			
		B (3) 横ばいである				
		C (1) 少ない、減少している				
		D (0) ほとんどない				
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	A	5.0	本事業の実施により、工事の施工時に受注業者の品質向上意欲が高まり、優良な工事が増えることによって、事業の成果が十分に達成されている。	
		B (3) 概ね達成している				
		C (1) あまり順調ではない				
		D (0) 十分な成果を望めない				
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	A			
		B (3) 概ね妥当である				
		C (1) 検討の余地がある				
		D (0) 見直しが必要である				
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	B	4.0	事務作業は民間活力の利用が可能であるが、対象工事の選定や審査が事業の主たる部分であり、行政主体が望ましい。 また、必要最小限の経費で十分な効果を得ており、むしろ経費をもう少しかけたほうがいいのではないかとと思われるほどに縮小した経費で実施しているのが現状で、これ以上のコスト削減はできない。	
		B (3) 行政主体が望ましい				
		C (1) 検討の余地はある				
		D (0) 十分可能である				
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減の可能性] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	A			
		B (3) 概ね効率的にできている				
		C (1) 検討の余地がある				
		D (0) 十分可能である				
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	B	4.0		
		B (3) 概ね保たれている				
		C (1) 偏っている				
		D (0) 公平性を欠いている				
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合(一般財源負担割合)は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	A			
		B (3) 概ね適正な負担割合である				
		C (1) 検討の余地がある				
		D (0) 検討すべきである				
総合点	15.5	総合評価	A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)			
			○ B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)			
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)			
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)			

## 7 2次評価(部局長評価)

評価日(平成21年 9月 11日)

総合評価	評価理由・今後の方向性等
A 事業継続	間接的ではあるが工物品質の向上に寄与していると考えられる。 費用面でも最小経費で実施されている。
○ B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

## 8 特記事項

--